

**蒲原有明** 詩人。日本初の象徴詩「春鳥集」はじめ、短期間に近代詩の金字塔を打ち建て、以後詩壇から退き長い人生。

かんばらありあけ

初の民間工場1875 = 東京麹町で、肥前国の武士出身の司法省(のちに文部省)官吏の子に生まれる。父の前妻が死去し、

琉球処分・・・1879 = 4歳：生母ツネが入籍されるも、

・・・1880 = 5歳：平河小学校に入学、

**明治14年政変**1881 = 6歳：

岩倉具視没・1883 = 8歳：離別され、以後継母のもとで育つ。

秩父事件・・・1884 = **9歳**：

**帝国憲法発布**1889 = 14歳：

郡司千島探検1893 = **18歳**：東京府立尋常中学校(現日比谷高校)卒業、神田の国民英学会に入学し、英語・英文学を学ぶうち、**日清戦争始**・1894 = 19歳：\_同窓の林田春潮らと同人雑誌{落穂双紙}を創刊、新体詩の試作を始める。

子規句歌革新1898 = 23歳：\_{読売新聞}の懸賞小説(尾崎紅葉選)に1等当選したが、

\_小説は2作だけでやめ、以後は詩作に専念。

教科書疑獄・1902 = **27歳**：\*第1詩集「草わかば」で、薄田泣菫と並ぶ新しい詩人として世に迎えられ、

日比谷公園・1903 = 28歳：\_第2詩集「独絃哀歌」では、「独絃調」と呼ばれる独特の詩律を創始して一時代の流行を生み、

**日露戦争終**・1905 = 30歳：\*特に第3詩集「春鳥集」は、日本で初めて象徴主義的志向を表明した詩集として有名である。

アヲヲ 創刊・1908 = 33歳：\*この傾向は、最後の詩集「有明集」で完成され、象徴詩のみならず、日本近代詩の一大金字塔となるが、

\_生来の人生的煩悶が高じて、仏教的思索生活に入り、以後は詩壇から退き、

大逆事件判決1911 = **36歳**：

**明治天皇没**・1912 = 37歳：

大暴落・・・1920 = **45歳**：

**原敬首相暗殺**1921 = 46歳：

**世界恐慌**・・・1929 = **54歳**：

**満州事変**・・・1931 = 56歳：

**日中戦争始**・1937 = 62歳：

健保+総動員 1938 = **63歳**：

**日米開戦**・・・1941 = 66歳：

**敗戦**・・・1945 = 70歳：

新憲法施行・1947 = **72歳**：自伝「夢は呼び交す」。

極東裁判決・1948 = 73歳：芸術院会員。

**独立回復**・・・1951 = 76歳：

メーデー事件・1952 = 77歳：\_没した。